

坂出市循環バス  
東西2ルートへ運行拡大



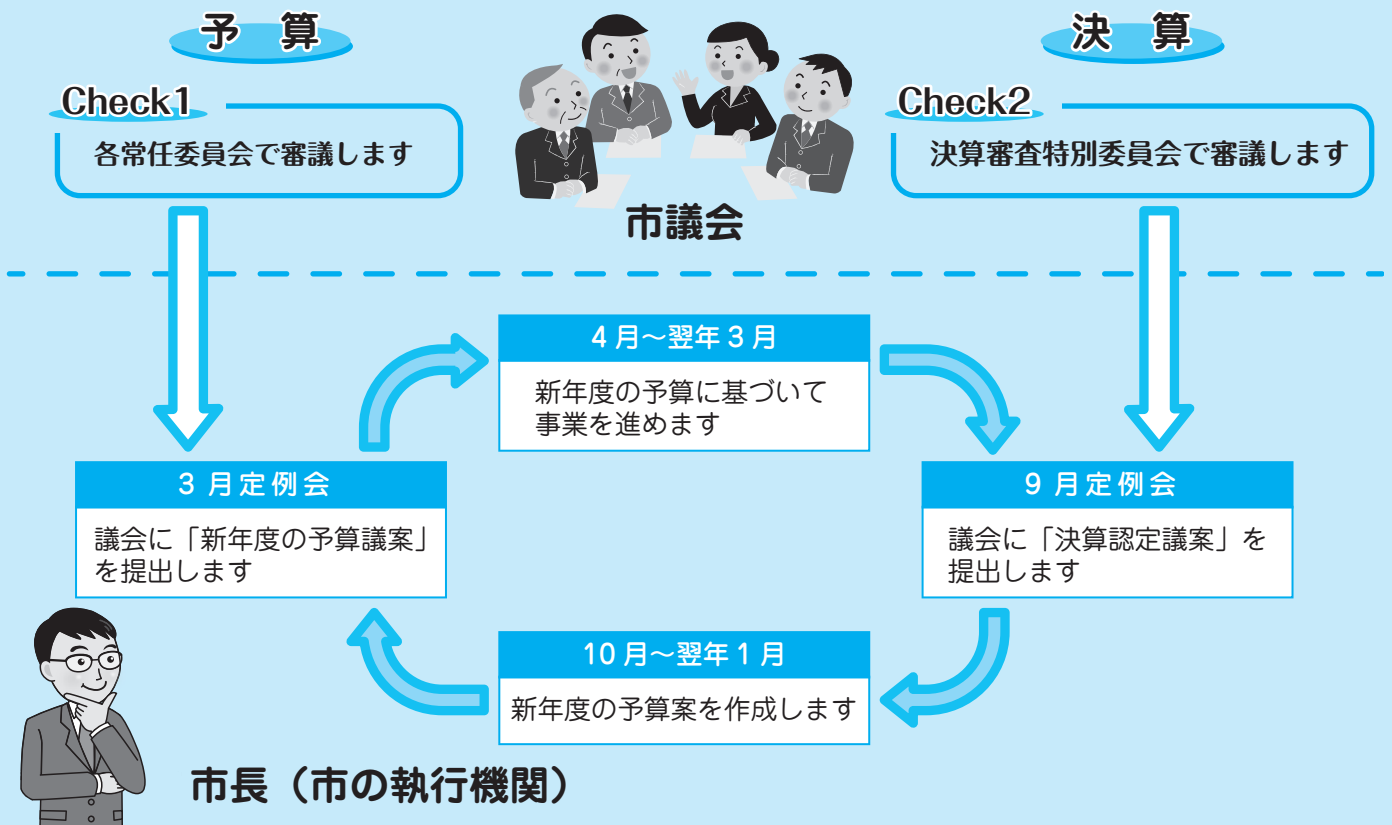
決算審査特別委員会の審議状況・・・2  
9人が一般質問・・・・・・・・・・・・・・5  
議会改革度ランキング大幅UP・・・9

# 決算審査特別委員会

## この1年、市の予算はどう使われたの？

「ここに使った予算は期待どおりの成果を出せたのか」「適正に使われたのか」を審査するのが決算審査特別委員会です。議会基本条例で位置づけた議会の大切な役割の1つである「予算執行の監視（チェック）」は、この決算の認定過程で行われています。

9月定例会で設置された決算審査特別委員会は、継続審査を行うこととし、閉会中の審査を経て、12月定例会にて各議案の表決を行う予定です。



### 審査日程

10月01日（水） 総務消防委員会関連  
 10月02日（木） 教育民生委員会関連  
 10月06日（月） 教育民生委員会関連  
 10月07日（火） 市民建設委員会関連  
 10月14日（火） 市民建設委員会関連

### 委員構成

【委員長】 前川 昌也  
 【副委員長】 松成 国宏

斉藤 義明 茨 智仁 村井 孝彦  
 野角 満昭 末包 保広 別府 健二  
 大前 寛乗 吉田 耕一 山条 忠文



# 市民目線で 議員がチェック！

## 総務消防委員会関連 自治会加入率向上に自治会加入促進補助金の積極的な活用を！

**問** 企業立地促進助成金の拡充により積極的な企業誘致を行っているが、新規雇用の確保状況は。

**答** 助成金の交付に当たっては、中小企業においては2名以上、大企業においては5名以上の新規雇用を要件としています。24年度は18名、25年度は19名の新規雇用者を確保することができました。



**問** 低迷する自治会加入率の向上に向けた取り組みは。

**答** 自治会加入促進補助金を創設し、新興住宅等での新たな単位自治会の設立準備に係る費用など、地域の加入促進活動に助成を行っています。より多く補助金を活用いただけるようPRを行っています。

## 教育民生委員会関連 介護予防強化のために高齢者の居場所づくり活動の促進を！



**問** 与島等で行った介護予防強化推進事業の実績は。

**答** どうすれば住み慣れた地域で元気に暮らしていけるかを島民とともに考え、高齢者の居場所づくり等を行いました。島民自ら様々な施策を提案いただく等、想定以上の事業効果を得ることができました。

**問** 学校給食業務の民間委託の効果は。

**答** 平成16年度から学校給食業務の民間委託を実施していますが、平成25年度の実績と比較すると、単年度で約1億2,500万円の費用削減効果がありました。現在、平成27年度以降の新たな民間委託の実施に向け準備を進めています。

## 市民建設委員会関連 地籍調査の全市的な実施スケジュールの策定を！

**問** 平成20年度から実施しているごみ袋有料化の効果は。

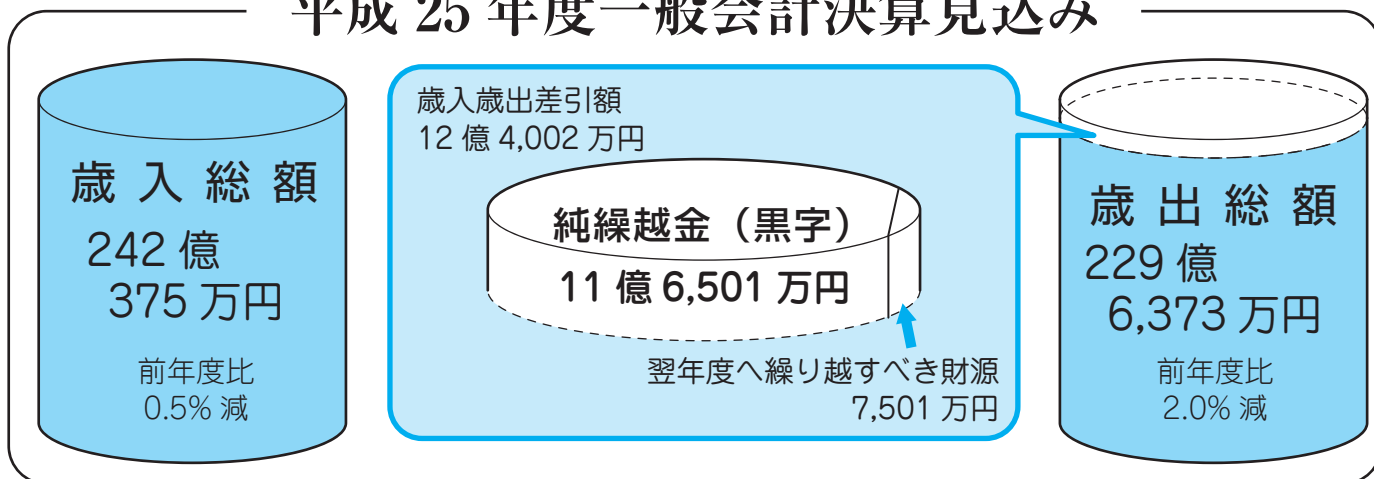
**答** 有料化前の平成19年度と比較して19.1%のごみの減量化が図られています。また、当初理め立て年限が平成23年度と見込んでいた坂出環境センターの大幅な延命化につながっています。

**問** 居住地域がいつ地籍調査の対象となるのか計画を示す必要があると思うが。

**答** 事業の進捗状況、また国・県との調整も必要なことから、事前の実施スケジュール公表は困難ですが、基本的には県道33号線の北側地域の海沿いを中心に進めていく予定です。



## 平成25年度一般会計決算見込み



# 条例制定案などを可決

## 9月定例会の概要

9月定例会では、初日に、市長より条例の新規制定案5件、条例の一部改正案5件、水道事業剰余金の処分案1件、補正予算案3件、平成25年度の決算認定案13件の計27件が提案され、関係委員会の審査等を経て、決算認定13件を閉会中の継続審査としたほかは、いずれも原案のとおり可決しました。

最終日には、市長より提出された坂出市固定資産評価審査委員会委員の選任案1件、議会運営委員会及び議員提案により提出された意見書案それぞれ1件ずつを原案のとおり可決しました。

また、任期満了に伴う坂出市選挙管理委員及び補充員の選挙を行いました。(審議結果は11ページをご覧ください。)

## 条例の内容・目的

### ●坂出市家庭的保育事業等の設備および運営に関する基準を定める条例制定について

全国的に待機児童の多い0～2歳児を対象とする事業として、家庭的保育(保育ママ)、小規模保育、居宅訪問型保育、事業所内保育を新たに市町村の認可事業とするに当たって、その設備や運営の基準を定めるもの。

## 議員がきく

**問** 家庭的保育及び小規模保育事業に該当する施設が本市にもあるのか。

**答** 現在、市内に認可外保育施設は3カ所ありますが、公的な財政支援はありません。

新制度では、本市事業計画における保育需要の状況を勘案し、供給が必要な場合は、本条例に定める運営事業者について、家庭的保育事業等として認可し、利用定員を定めた上で、公的な財政支援の対象としていきます。

### ●坂出市墓地条例の一部を改正する条例制定について

金山分院跡地の市営墓地整備工事1期工事が今秋完成の見込みとなったため、墓地名を金山墓地に、また墓地の区画面積を1.8㎡、2.25㎡、4㎡の3種類で総数250区画、使用料をそれぞれ36万円、45万円、80万円とするなど、新墓地の使用・管理について定めるもの。



## 補正予算関係

一般会計補正予算案は6億5,863万9千円を増額し、補正後の予算総額を228億3,298万円とするもので、主な内容は以下のとおりです。

### 総務費

■**財政調整基金積立金** **6億円**

平成25年度の黒字額の1/2相当を基金に積み立て

### 農林水産業費

■**水産振興対策事業補助金** **800万円**

アワビ養殖施設の整備に取り組む事業者に補助金を交付

### 教育費

■**仲よし教室整備事業** **1,000万円**

平成27年4月からの子ども・子育て支援新制度の開始に伴う仲よし教室整備



■**中央体育館周辺整備事業** **1,400万円**

新市立病院の開院に合わせ、隣接する中央体育館周辺の整備工事を実施

# 一般質問

# 9名の議員が市政について聞きました

質問者の質問順に掲載しています。  
一般質問の詳細や過去の質問は、会議録で閲覧できます。

出田泰三議員

市民の声

▼人口増施策として転入・転出者への窓口アンケートを実施しては

**問** 子育て世代を中心とした定住者の増加を図り、人口増につなげる取り組みの参考資料として、若い世代の市職員や転入・転出者への窓口アンケートを実施してはどうか。

**答**…総務部長

人口増施策に取り組むためには、広くご意見を伺うことが重要であると考えており、現在、本市に転入される方や新婚世帯家賃補助金を申請された方などへのアンケートについて検討しています。また、職員提案制度の中から出された提案や若手職員による政策提案プロジェクトチームからの人口増対策についての提案も受け、順次政策に反映しています。



▼医療・介護など福祉関連の各種専門学校を積極的に誘致しては

**問** 医療や介護施設の多い本市の特性を生かし、企業誘致条例の対象業種に医療や介護の福祉関連の専門学校等を加えて誘致を促進し、学生など若者による活性化を図っては。

**答**…総務部長

専門学校等が市内に設置されれば、若い世代の人々が集まり、市の活性化にもつながると考えますが、現在、本市の企業誘致条例は対象業種を営利目的の事業を営む者と規定しており、専門学校を運営する団体は、公益を目的とする団体が多いことから、対象業種に加えることは難しいと考えます。

一方、病院や福祉施設が多い本市の状況を踏まえ、ふるさと坂出就職支援センターの活動や就職フェアなどの機会を通じ、福祉関係の事業所から雇用情報を収集するなど、就職支援による市の活性化に努めます。

### 質問の主な項目

- ・防災対策について
- ・人口減少対策について
- ・子供に優しいまちづくりについて

山条忠文議員

改進の会

▼産科の再開に代えて、専門的医療の特化へ方針の転換を図っては

**問** これまで産科の再開に熱心に取り組んできたが、社会情勢を勘案すると、常勤医師を確保するのは今後非常に厳しい状況である。そこで、産科の再開に代えて、市立病院が得意とする専門的医療に特化する方針へ転換を図ってはどうか。

**答**…市長

市長就任以降の5年間で、産科医を取り巻く状況は厳しさを増す中、私の公約であった産科の再開が困難となったことは事実です。さらなる人口減少も予想されていますが、統計資料からは、妊娠、分娩及び産しよく患者の市外への流出が見受けられます。また、市民からも強い要望もあることから、期限を設けることなく、引き続き産科の再開に努めていきます。

### 質問の主な項目

- ・病院跡地の利用について
- ・教育現場での課題について
- ・犯罪被害者の相談窓口の設置について

▼小中学校の授業にタブレット型端末を導入しては

**問** 国においては、2020年までに全ての学校で一人1台のタブレット型端末を導入し授業で活用するとされているが、本市においてもモデル校を選定し、段階的にタブレット型端末を導入していくべきと考えられるが。

**答**…教育部長

市内の全小中学校に導入した場合、タブレット型端末を1台5万円と仮定した上で、サーバー等のネットワーク環境の整備を含めて試算すると、最低でも約2億6,100万円の初期費用が必要となります。先進地での実践例などから、その効果は注目すべきものがあり、本市教育委員会としても関心を持っていますが、指導に当たる教員の対応力の向上や設備投資に係る財源の確保など、課題も多くあります。当面は、他の自治体での国のモデル事業の実施状況や教育効果の検証等を踏まえながら、慎重に研究していく必要があると考えています。

別府健二議員

新 政 会

人口減少対策に効果的な取り組みを

**問** 一般的に、人口減少の主な要因として、出生率の低下や大都市への人口流出が考えられる。本市の人口減少を食い止める効果的な取り組みは。

**答**…市長

人口増対策として、まずは働く場があることが大事であると考え、企業誘致の促進にこれまで取り組んできました。また、新婚世帯家賃補助制度、子供の医療費助成、出産祝金の増額、保育所保育料の軽減など、様々な施策を講じてきました。

人口増対策はまちづくりそのものであると考えており、市政全般の中で取り組んでいく最重要課題であると認識しています。今後もこれまで同様、魅力あるまちづくりのために各種施策に積極的に取り組んでいきます。



不登校、ゼロを目指し児童生徒にきめ細やかな対応を

**問** 長い人生で一番多感な時期にいいじめ等が原因で不登校になることは、その後の人生にも大きな影響を及ぼすこととなる。全国的に保健室登校の児童が増加しているとの報道もあるが、本市の状況は。

**答**…教育長

市内で保健室等別室に登校している児童生徒は、平成24年度、25年度ともに3名でした。本年度も1学期間に3名の生徒が別室に登校しています。

児童生徒は、登校した後、教室へは入らずに保健室等で過ごしていますが、後々は教室で勉強ができるように、担任や養護教諭を中心に多くの教員が関わり、教育相談を行ったり、学習プリント等に取り組んでいます。個別指導の中での温かい関わりを通して、教室に入る日が増えるなどの改善が図られた児童生徒も見受けられることから、今後も保健室等登校を有効に活用し、不登校の解消に努めていきます。

質問の主な項目

- ・第5次総合計画について
- ・空き家対策について
- ・不登校対策について

東山光徳議員

新 政 会

イノシシ被害の対策強化を

**問** 鳥獣被害が深刻であるが昨年の被害状況は。

**答**…建設経済部長

有害鳥獣捕獲頭数は、306頭です。また、イノシシによる農作物の被害状況は、防護柵の未整備地区を中心に果樹・水稲・野菜に被害を受けている状況で、被害面積が約20ha、被害額は約2,300万円となっています。

**問** 現状の対策では被害の減少は困難であると考えますが。

**答**…建設経済部長

これまで実施してきた新規狩猟者の確保や駆除・防除の両面での対策に加え、被害を受けている集落の住民が、有害鳥獣の生態や習性の理解を深めることが効果的であると考えています。啓発活動に努めることも、来年度に施行される認定鳥獣捕獲等事業者制度に関して、県及び猟友会と協議しながら、被害防止に努めていきます。

質問の主な項目

- ・農地の集積、集約化に向けた取り組みについて
- ・農業委員会制度の改革について
- ・香川県の水道広域化について

県道高松坂出線の全線4車線化に向けた新トンネルの建設を

**問** 無料化から3年半が経過し、交通量も格段に増え、交通事故も多発している。一部4車線化工事の見通しや、全線4車線化に向けた新トンネルの建設を要望していく考えは。

**答**…建設経済部長

片側1車線区間においては、朝夕の通勤渋滞、交通事故も多発していることから、4車線化の早期整備を要望してきました。県としては、これまで定期的に交通量等の調査を実施する中で、安全対策として路面標示による注意喚起、さらに路肩整備を実施しており、今年度においても4車線化に向けた調査検討を行っていくとしています。

本市としては、新トンネル建設による全線4車線化に向け、まずは4車線区間の延伸に早期着手するよう、引き続き要望していく考えです。



県道高松坂出線

野角満昭議員

日本共産党議員会

▼子ども・子育て支援新制度により市の保育責任は後退しないのか

問 新制度の最大の特徴はこれまでの市の責任による保育の提供から、利用者と事業者の直接契約による仕組みへの変更である。これにより市の保育責任が後退しないのか。

答…健康福祉部長

新制度への移行後も児童福祉法に基づき、現在と同様に市が保育の実施義務を担うことから、保護者が保育所での保育を希望する場合は、市へ申し込みを行い、保護者が市と契約して利用することとなります。また、小規模保育などの保育所以外の保育についても市が必要な保育の確保をするための措置を講ずる必要があります。このように市が保育所以外の保育を含め、すべての保育について利用調整を行うことになることから、市の保育責任が後退することなく、保育を利用できる仕組みと なっています。



▼住宅・商店リフォーム助成の創設を

問 中小企業に仕事と潤いをもたらす施策として、住宅や店舗の改装などに對する助成制度を創設してはどうか。

答…建設経済部長

中心商店街では、厳しい経営環境下で、経済的に店舗の改装等に踏みきれない店舗もあると思われることから、リフォーム助成による商店街等の活性化の可能性も考えられます。まずは、商店街連合会が実施する商店街の活性化に向けた方策のための空き店舗等のアンケート調査や商店経営者の意識調査を踏まえた上で、商工会議所等と連携しながら、研究していきます。

答…市長

南海トラフ巨大地震等から市民の生命を守るため、耐震診断・耐震改修助成を優先的に進めています。今後、住宅リフォーム助成については、他市の事例を研究していきます。

質問の主な項目

- ・子ども・子育て支援新制度について
- ・住宅・商店リフォーム助成制度の創設について
- ・公契約条例の制定について

松成国宏議員

公明党議員会

▼今後の洪水・浸水対策の整備計画は

問 洪水・浸水対策として、市内各ポンプ場等の整備が進んでいるが、今後の整備計画は。

答…建設経済部長

東部地区の浸水対策として、これまで三七ポンプ場の水中ポンプの増設や改修整備を行うことで排水能力を高めており、今後も適切な維持管理による施設の延命化を図ります。

また、西部ポンプ場の整備が平成24年度に完了したことから、今後、県道富士見町線の拡幅事業に併せて西部雨水幹線の整備を予定しており、これにより西部ポンプ場の能力が最大限発揮できるものと考えています。市内の各水門やポンプ場は高潮や集中豪雨時の浸水を防ぐ重要な施設であり、引き続き適切な維持管理による能力の維持、延命化を図ることで市内の浸水対策を進めていきます。



三七ポンプ場

▼道路面下の空洞調査の実施を

問 東日本大震災では、緊急輸送路や避難所への道、港湾岸壁などの陥没により、救援・復旧活動が妨げられた箇所がある。そこで、災害発生時の道路の安全確保のためマイクロ波を活用した路面下の空洞調査を実施してはどうか。

答…建設経済部長

現在、臨海部の施設で老朽化等により陥没の恐れのある岸壁等について、電磁波による空洞調査を実施し、必要に応じて修繕を行っており、今後も引き続き臨海部の安全確保に努めます。

市道については、道路パトロールにより道路破損等による事故の未然防止に努めています。全ての幹線道路の空洞調査には多額の費用がかかるため実施は困難ですが、緊急輸送路に指定されている2幹線について、大規模災害時の救援活動等に対応した交通の確保のため、今後、空洞調査の実施について検討します。

質問の主な項目

- ・地域医療・介護総合確保推進法について
- ・人口減対策について
- ・人工土地総合再生基本計画について

齊藤 義明 議員

市民の声

利用者に寄り添った接遇や対応ができる新市立病院に

問 利用者から、診察待合で大勢の患者の面前で氏名を読み上げ、診察順の到来を知らせるのは個人情報保護の観点から問題である等との声がある。新市立病院では利用者からの意見を真摯に受け止め、接遇面等の改善を積極的に行うべきでは。

答 ……市立病院事務局長

新病院では、個人情報保護の観点から、受付時に再来機等で受付番号票を発行し、診療室に呼び込む際にも、各診療科前のディスプレイにその番号を表示することにしていきます。

良質な医療を提供するためには患者と信頼関係を築くことが重要であることから、今後も職員一人ひとりが更なる接遇の意識を高めるとともに、引き続き安全・安心な医療を提供できる、地域に根ざした市民に親しまれる病院を目指していきま



新市立病院

職員の法令遵守の徹底に向けた効果的な取り組みを

問 どうすれば職員の酒気帯び運転を未然に防げたのか。

答 ……市長

これまでも飲酒運転撲滅については、機会があるごとに注意喚起を行ってきましたが、その中で再び職員が酒気帯び運転で検挙されたことを市民の皆様から心からおわびを申し上げます。

職員の指導監督に引き続き全力で取り組んでいきますが、職員一人ひとりが全体の奉仕者としての自覚に基づき勤務規律の確保について、重大な決意をもって臨むことが肝要であると考えています。

問 職員の法令遵守事項について定期的に教育研修すべきでは。

答 ……副市長

今回の事案を教訓に、職員研修の計画的な実施や庁達など、あらゆる手段を通じて、職員一人ひとりの法令遵守意識の醸成に全力を挙げて取り組んでいきたいと考えています。

質問の主な項目

- ・来年度予算編成方針について
- ・中期財政計画について
- ・職員の交通事故等の防止について

前川 昌也 議員

市民グループ 未来の会

学力・学習状況調査の結果を分析し学力向上に向けた対策を

問 学力・学習状況調査の結果を分析し、課題を明確にした上で、学力向上のための対策を立てることが重要である。今後の取り組みは。

答 ……教育長

今回の調査では、学力の2極化が懸念され、基礎基本の定着に課題が見られたことから、すべての子供に分かる授業づくりが急務であると考えています。具体的には、授業の始めに前の授業の復習をする、学習の狙いを全員で確認する、子供同士が話し合い伝え合う活動を積極的に取り入れる、ノートに書く時間を確保するなど地道な取り組みをこれまで以上に大切にします。家庭での学習時間が短いことから、学習習慣についても家庭と連携して改善を図ることも肝要であり、今後とも、粘り強い取り組みにより学習意欲を高め、学力向上を図っていきます。

質問の主な項目

- ・学校プール施設について
- ・旧学校施設等の有効活用について
- ・讃岐国府跡について

第5次総合計画とグラウンドデザインの整合性は

問 総合計画とグラウンドデザインはともに重要な計画であるが、それぞれの位置付けや整合性は。

答 ……市長

総合計画は本市のまちづくりの基本構想として最上位の計画に位置付けるものです。またグラウンドデザインは、当然その一部を構成するもので、基本構想の理念を反映させるべきものと考えています。

現在、新市立病院の全容が明らかになりつつあり、また市道京町線の整備後の形も少しずつ見え始め、市民の皆様の期待をひしひしと感じています。その流れを止めることなく、長期的なまちづくりの方向性を市民と共有し「坂出に住みたい」と思えるまちづくりのためにもグラウンドデザインは不可欠であると考えます。

地方創生に向けた国の動向にも注視しつつ、総合計画との整合性に留意しながらグラウンドデザインの策定を進めていきます。





脇 芳美 議員 新 緑

健康寿命延伸に向けた対策は

**問** 日常的に介護を必要としないで、自立した生活ができる生存期間が健康寿命として定義されているが、その延伸のための施策は。

**答**…健康福祉部長

いわゆる「非自立期間」をできるだけ短くするための対策として、「がん」「循環器疾患」「糖尿病」等の生活習慣病の予防・重症化防止対策の強化が求められています。本市でも、がん検診や特定健診・特定保健指導・歯科健診等の各種検診の受診率の向上や運動習慣・食生活等の生活習慣の改善に向けた取り組みを進めています。

また、現在「健康寿命の延伸」を主要な目標の一つとした「第2次健康増進計画」「第2次食育推進計画」の策定を進めており、今後、この計画を軸として、施策の強化・充実に図ってまいります。



生活困窮者の自立支援のために早期の集中的な就労支援を

**問** 生活困窮者の自立支援のための早期の集中的な就労支援が、継続的な就労につながっていくと考えるが、本市における生活困窮者の自立支援対策の状況は。

**答**…健康福祉部長

平成25年4月から就労支援員1名を配置し、稼働年齢層の被保護者に対し就労支援業務を行っています。

また、「坂出・綾歌地域生活福祉・就労支援協議会」では、被保護者等、生活に困窮する離職者に対し、チーム制による就労支援対策について協議するなど、公共職業安定所と緊密な連携を図りながら就労支援を実施しています。

このような就労支援策により、今年度に入ってから、現在まで11人が就労を開始し、その内6人が自立しており、一定の効果が得られています。

今後とも関係機関と連携しながら、就労支援員とともに積極的かつ集中的に自立支援策を講じ、被保護者の早期就労開始を目指してまいります。

質問の主な項目

- ・ 減反廃止について
- ・ 本市の魅力のPRについて
- ・ 工事の入札について

議会改革度ランキングが大幅にランクアップ  
県内1位 四国で3位に躍進!

市区議会の改革度調査は日本経済新聞社産業地域研究所が全国813市区議会を対象に行ったもので、2010年、2012年に続き今回が3回目の調査となります。主に情報公開、住民参加、議会運営の3分野について、平成26年4月1日時点の制度や過去1、2年の実績に関する質問の回答を数値化し、ランキング化したものです。

全国813市区議会のうち、本市議会は131位(前回795位)、また県内では1位(前回最下位)、四国内では3位(前回最下位)となりました。

前回調査後の平成24年5月に議会基本条例を制定し、議会報告会の開催や政務活動費等に関する情報公開を積極的に行ったことが評価されたと考えられます。

今後も、市民の皆さんに開かれ、わかりやすく、参画できる議会を目指し、より一層の議会改革に取り組んでいきます。



## 総務消防委員会

付託案件 3件

全議案について異議なく原決可決しました。

**問** 新市立病院の開院を契機に看護科を看護部へ昇格させ、魅力ある職場環境の整備に取り組むことは大変評価できるが、医療職給料表（2）に該当するレントゲン技師長等も課長相当職へ昇格させることで、組織としての一体感を醸成することが、さらなる病院経営の向上につながるかと考えるが。

**答** 病院当局と連携を図りながら、協議、検討を進めていきます。

※市立病院は地方公営企業法のうち財務に関する規定のみを適用する一部適用となっております。そのため、職員の身分の取り扱い、市立病院独自で定めることはできず、条例で定める必要があることから、人事に関する事項を所管する総務消防委員会で審議しました。予算や運用に関することは教育民生委員会で審議しています。



## 教育民生委員会

付託案件 11件

全議案について異議なく原決可決しました。

**問** 今回整備する金山墓地より新たに管理料を徴収するが、他の市営墓地にも管理料を設定して維持管理費に充てるべきでは。

**答** 既存の市営墓地では使用料を設定する際に、管理料も含めて金額を算出している経緯も見られるので、改めて使用者の理解を得ることは困難であると考えます。

**問** 平成27年4月より、子ども・子育て支援新制度がスタート予定であるが、本市の子育て環境がどのようになると変わるのか。

**答** 保育需要など地域の実情を反映した「子ども・子育て支援事業計画」（五カ年計画）を市が策定し、既存の幼稚園や保育園などの保育施設で供給できる保育量を上回った場合には、家庭的保育（保育ママ）や少人数（定員6〜19）を対象とする小規模保育などの地域型保育事業等で補っていきます。

また、身近なところで子育て相談などが受けられる「地域子育て支援拠点」など、地域の様々な子育て支援を充実していきます。

## 市民建設委員会

付託案件 2件

全議案について異議なく原決可決しました。

**問** 県のオリーブ生産拡大総合支援により作付したオリーブの収穫状況は。

**答** 平成22年から3年物のオリーブを作付し、昨年度は800kgを収穫しています。将来的には年間70トンの収穫を見込んでいます。



**問** 新たに実施するアワビの養殖事業の概要は。

**答** 近年、漁業従事者の高齢化が進む中、瀬戸内海の漁獲量も減少し、価格等も低迷している状況にあります。安定的な漁業収入を得る方策を、松山漁協と協議し、アワビの養殖事業に取り組むこととなりました。

アワビの成育に3年程度の期間が見込まれるため、その間、稚貝の購入等にかかる費用を補助していきます。

## 9月定例会の日程

9月4日	本会議	提案説明	9月12日	委員会	教育民生委員会の審査
9月9日	本会議	議案質疑・委員会付託	9月16日	委員会	総務消防委員会の審査
	委員会	決算審査特別委員会の審査	9月17日	委員会	市民建設委員会の審査
		議会運営委員会の調査	9月18日	委員会	議会運営委員会の調査
9月10日	本会議	一般質問（個人）	9月24日	議員総会	
	委員会	決算審査特別委員会（議案調整）	本会議		委員長報告への質疑・討論・採決
9月11日	本会議	一般質問（個人）			追加議案の提案説明
	委員会	議会運営委員会の調査			質疑・討論・採決

# 平成26年 9月定例会の審議結果

議員数 = 22名 表決参加議員数 = 21名  
※議長は表決には加わりません。

**可決**  
賛成 12名  
反対 9名

## 議員提出議案

**意見書案第3号  
安定的な雇用と公正な  
労働環境の確保に関する  
意見書**

原案可決に

賛成

齊藤義明、出田泰三、若谷修治、脇 芳美、村井孝彦  
野角満昭、前川昌也、大藤匡文、大前寛乗、松田 実  
若杉輝久、松成国宏

反対

茨 智仁、楠井常夫、末包保広、別府健二、吉田耕一  
中河哲郎、木下 清、山条忠文、東山光徳

## 意見書案第3号の原文

### 安定的な雇用と公正な労働環境の確保に関する意見書

我が国においては、今後、人口が毎年約80万人減少し、あわせて労働人口も減少することが予測される中、全労働者の約9割に上る雇用労働者が、安定的な雇用と公正な処遇のもとで安心して働くことができる環境を整備することは、日本経済・社会の持続的成長のためには必要不可欠である。

こうした中、これまでの時代背景を前提とした働き方の体系を見直すべく検討を進めてきた内閣府の産業競争力会議の雇用・人材分科会が昨年末に発表した中間整理において、「柔軟で多様な働き方ができる社会」を初めとする三本柱を打ち出され、労働者が、特定分野で、それぞれの個性を生かし多様な働き方ができる多様な正社員の導入、働き過ぎを改善するため、職務が明確で高い職業能力を持つ労働者に適合した労働時間制度の検討、中小企業で働く労働者保護の観点等から、労働紛争の解決に諸外国の例にある金銭的な救済の仕組みなどについて研究することとされている。

これらの施策により、労働者にとっては、活躍の場の増加、育児・介護との両立など労働環境の向上が期待される一方で、労働時間の増加や解雇しやすい正社員の増加などを懸念する向きもある。

よって、国会及び政府においては、下記事項を実現されるよう強く要望する。

#### 記

- 長時間労働の誘発や解雇しやすい正社員を増加させないよう、安定的な雇用と公正な労働環境の確保が図られる制度とすること
- 派遣労働者のより安定した直接雇用への誘導と処遇改善に向けた法改正を行うこと
- 労働分野の法律改正等については、労働政策審議会において議論すること

## 賛成討論 (要旨)

若者の将来に対する不安や悩みへの解消、人口減少の歯止め及び日本の経済・社会の持続的成長のために、安定的な雇用と処遇のもとで安心して働くことができる環境を整備することは必要不可欠である。また、地方においても安心して働き続けられる雇用の機会を確保されることが、地域経済のさらなる発展につながると考えている。

## 反対討論 (要旨)

政府の産業競争力会議で議論されている労働時間の規制緩和は、本案が懸念する雇用の継続的安定を損なうことや過重労働、長時間が強いられるような内容ではない。また、限定社員をはじめとする雇用法制の見直しについても、労使双方のメリット・デメリットを勘案し検討されており、単に労働者が不利益となるだけの制度ではないと考えている。

## 全議員が賛成した議案 (可決・継続審査・同意)

市長提出	予算	平成26年度坂出市一般会計補正予算案 など予算案 3件
	条例	坂出市健やか子ども基金条例制定 など条例案 10件
	決算	平成25年度坂出市一般会計決算認定 など決算認定案 13件
	その他	平成25年度坂出市水道事業剰余金の処分 坂出市固定資産評価審査委員会委員の選任
議員提出	意見書	ウイルス性肝炎患者に対する医療費助成の拡充を求める意見書

議案内容等の詳細は、坂出市議会ホームページ【議案内容等・審議結果】をご覧ください。



# VOICE

～まち歩きの中で～  
at 駅近「さかいで楽市楽座」  
九月市



駅近「さかいで楽市楽座」は毎月第3日曜日の8時から13時までJR坂出駅前で開催しています。

楽市楽座の開催も今年で4年目に突入。朝早くから多くの家族連れで賑わう中、坂出商工会議所青年部、楽市楽座担当委員長の大西さんにお話を伺いました。



Q.楽市楽座から始めるまちづくりとは？

A. 官民一体となって坂出のまちを盛り上げていきたいと考えています。特に多くの子供達に会場してほしいと思い、企画面でも意識しています。子供達には大きくなって、ぜひ坂出に住み続けてほしいと思います。

Q.坂出をこよなく愛する、まちづくりの担い手として市議会に対して望むことは？

A. 坂出を活性化するためには市議会の力が必要です。最近、良い方向に変革されてきましたが、今後も市民本位の開かれた議会づくりをお願いしたいと思います。

## 議会運営委員会 行政視察報告

議会運営委員会では、政策提言できる議会を目指し、下記のとおり、行政視察を行いました。調査の詳細は市議会ホームページをご覧ください。

静岡県菊川市 8月6日

～政策討論会を実施～

議会基本条例に基づき、政策討論会を設置しています。議員間でテーマを設定し、いくつかの場での議論を経て、市長に対して政策提言を行っています。平成25年度のテーマは防災についてでした。

愛知県大府市 8月7日

～委員会活動を活性化～

議会活性化特別委員会等を中心に議会改革に邁進しています。また、各委員会でテーマを設定し、委員間での議論や行政視察を行った後、政策提言を行っています。



滋賀県大津市 8月8日

～政策検討会議で議論～

政策検討会議を設置し、大学等と連携するなど、専門的な知見を活用しながら、議員提案による条例制定などに取り組んでいます。平成24年度にはいじめ防止条例を制定しています。

## 視察等来庁記録

- 8月 1日 岡山県新見市 (市民後見人制度について)
- 10月 29日 滋賀県彦根市 (政務活動費について)
- 千葉県市原市 (市民後見人制度について)
- 30日 三重県伊勢市 (新設統合小学校について)

## 9月定例会で同意・選挙した人事案件【敬称略】

- ◎坂出市固定資産評価審査委員会委員 増田成宣
- ◎坂出市選挙管理委員 松本仁孝 横井敬仁 樋口 始 三好美也子
- ◎坂出市選挙管理委員補充員 河井利夫 多田羅久江 樋本保男 國時忠能

## 編集後記

今年9月、テニスの四大大会全米オープンで日本人として初の決勝に錦織圭選手が進出し、初優勝が期待されましたが惜しくも準優勝となりました。世界のトップと互角に戦う錦織選手に日本中が沸き上がり声援を送りました。

テニスファンとして、錦織選手の活躍ともう一つ期待することがあります。それは、テニスブームの到来です。現在、テニスの試合の地上波放送は少なく、テニス人口も減少傾向にあります。

今後は、錦織選手のようにジュニアから競技に取り組む子供たちや、しばらくラケットを握っていない人も健康のために再開する人も増えてほしいものですね。 (若谷)

広報広聴委員会

[委員長] 若杉輝久 [副委員長] 出田泰三 [委員] 若谷修治 村井孝彦 楠井常夫 末包保広 松田 実 木下 清

次の定例会は12月上旬に開会予定です